

一タリークラブとの共同事業を行っています。「希望のつばさプロジェクト」は、経済的に困窮している家庭や子供たちへ継続的に手を差し伸べていく素晴らしいプロジェクトだと思いましたので、皆さんもご一読ください。

【縦組】

P.2 登校支援について。P.2 後半に増え続ける不登校人口、23年度の不登校の人口が34万6500人、前年比で5万人の増加、コロナ流行以前も毎年1~2万人が増加しているとのことです。ぜひ皆様もご一読ください。

卓 話



進行

国際奉仕委員会 委員長 松本 有祐
ラオ・フレンズ小児病院はラオスのルアンパバーンにあります。ルアンパバーンは、古都、京都のようです。この病院は、寄付だけで運営されていて、無料で診察しています。昨年、10周年記念で、小林 又次郎直前会長と岡部 勉直前幹事と共に訪れました。



この病院への奉仕事業は15年以上前から続いています。高橋 誠一バスト会長が始められた案件です。

ご挨拶

バスト会長 高橋 誠一

赤尾さんとの出会いは病院を始められる5~6年前。カンボジアの病院でのことでした。その前に、テレビで見たのですが「日本人でこんながんばっている人がいる」と感銘を受け、テレビ局に連絡して連絡先を聞き、自分からコンタクトを取りました。何かお手伝いできることはありませんかと尋ねました。その後、ラオスに病院を始める際に、建築費や車(4WDトヨタハイラックス)などを寄付しました。



フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー・JAPAN
代表理事 赤尾 和美様
オンラインで卓話
いただきました



2025年11月20日、敬宮愛子内親王が訪問されました



これまでのご支援に
心より感謝いたします。

予防プロジェクト

「病気になるなければ病院へ来る必要がなくなる」

妊娠期からの子どものケアに注目

「First 1,000 days program」

→ Pregnant through age 2

(お母さんの妊娠期から2歳まで)

「あそこ(LFHC)へいけば
治してもらえる」

と言われている病院で働けることが自慢です。

そういわれる病院になり、そのことに誇りを持てるスタッフが成長するまでになりました。



症例:

9年の成果 ハックちゃん



現在のハックちゃん

この病棟に到着して初めて2歳を超えたハックちゃん。5歳まで続けた訪問看護を終了し、今年3月に訪問、小児科2年などになり元気に通学しています。お母さんでもできていました。



訪問看護

行かれるところはどこまでも。行かれないところも行ってみる。諦めない!



訪問看護で出会ったプンミー君

もし、出会わなければ?



会長 横溝 一樹

「赤尾代表、本日はありがとうございました。日本には伝わらない過酷な状況がわかりました。会員の皆様にも伝わったと思います」

スマイル報告

■副SAA
吉田 浩二



・進行は
副SAA
田口 修身が
務めました



出席報告

■出席委員会 副委員長
永井 伸剛

